

交付運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスフォーメーションにより、中長期的に高い成長が見込まれる企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期間におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBS
グローバルDX株式ファンド
(予想分配金提示型)

追加型／内外／株式

第48期（決算日2024年11月15日）
第49期（決算日2024年12月16日）
第50期（決算日2025年 1月15日）
第51期（決算日2025年 2月17日）
第52期（決算日2025年 3月17日）
第53期（決算日2025年 4月15日）
作成対象期間（2024年10月16日～2025年4月15日）

UBSアセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
＜お問い合わせ先＞ 投信営業部 03-5293-3700
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)
<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2025。キーンシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

第53期末（2025年4月15日）	
基準価額	8,962円
純資産総額	684百万円
第48期～第53期 (2024年10月16日～2025年4月15日)	
騰落率※	－17.1%
分配金合計	1,000円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

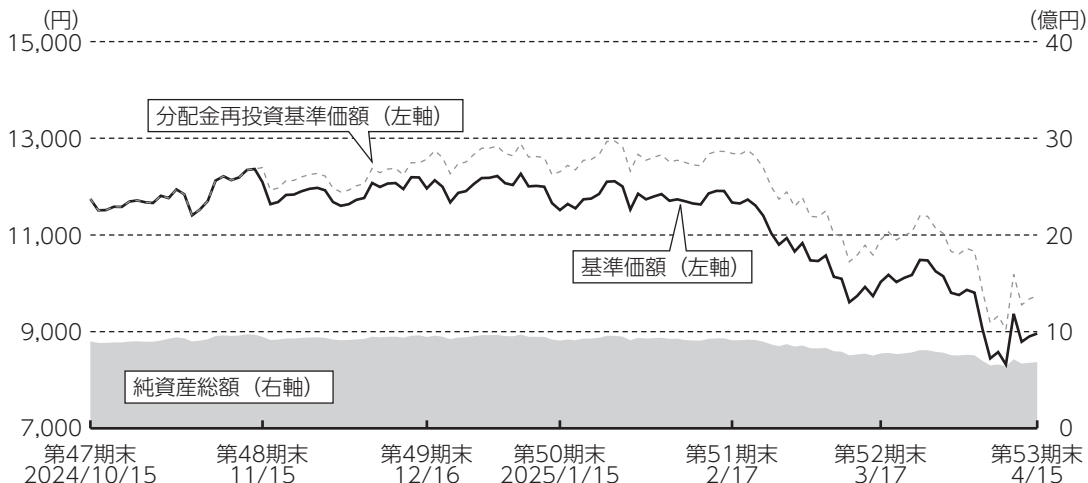
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

（2024年10月15日～2025年4月15日）



第48期首：11,745円

第53期末：8,962円（既払分配金 1,000円）

騰落率：－17.1%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、保有銘柄の株価下落や、為替変動の影響（主に米ドル安・円高の進行）などが重石となり、前作成期末比で下落しました。

1万口当たりの費用明細

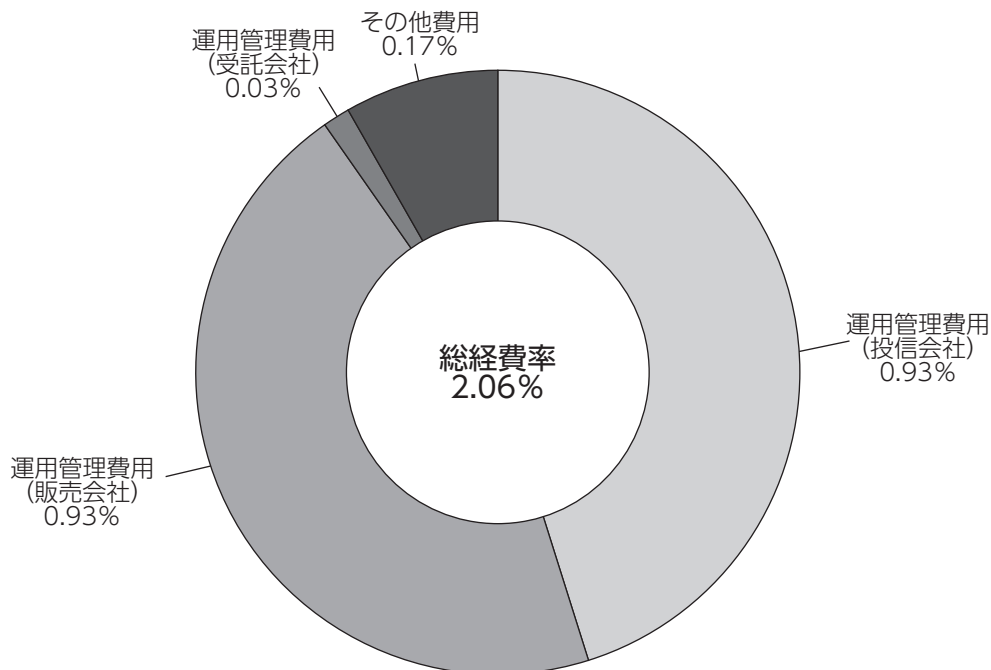
項 目	第48期～第53期 2024/10/16～2025/4/15		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	107円	0.949%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,295円です。
（投信会社）	（ 53）	（0.466）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 53）	（0.466）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.016）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	1	0.008	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	（ 1）	（0.008）	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	（ 0）	（0.001）	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	9	0.084	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 5）	（0.043）	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	（ 1）	（0.010）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 4）	（0.030）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.001）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	117	1.042	

（注1） 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2） 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3） 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報） 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注4) 上記の費用には、マザーファンドが支払った費用を含みます。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2020年10月15日～2025年4月15日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2020年10月15日）の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020年10月15日 設定日	2021年4月15日 決算日	2022年4月15日 決算日	2023年4月17日 決算日	2024年4月15日 決算日	2025年4月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,205	9,657	9,188	11,930	8,962
期間分配金合計（税込み） (円)	—	900	1,500	0	2,100	2,400
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	21.2	△ 1.3	△ 4.9	55.7	△ 8.4
純資産総額 (百万円)	100	1,297	1,706	1,042	905	684

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計（税込み）」は、表中の直前の決算日または設定日からの騰落率および分配金合計（税込み）です。

※当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

投資環境について

当作成期のグローバル株式市場は下落しました。

作成期の序盤から2025年初めにかけては、不安定な中東情勢や中国経済の先行き不透明感などが重石となる局面もみられたものの、世界的な金融緩和の流れや、米国を中心とした底堅い景気動向などが下支えとなり、株価は概ね良好に推移しました。しかし、2025年2月半ば以降は、トランプ米政権の関税政策などが世界経済および企業業績に悪影響をおよぼすとの懸念から世界的な株安が進みました。作成期末にかけては、トランプ米政権が相互関税の一部の発動を90日間停止すると発表したことなどを好感して、株価は幾分値を戻したものの、最終的に前作成期末の水準を下回って作成期を終えました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

UBSグローバルDX株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主として世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスフォーメーション（DX）※を通じて、飛躍的な成長が見込まれる企業の株式を実質的な投資対象としています。銘柄選択にあたっては、長期的な成長見通しに優れ、相対的にクオリティが高いと判断される企業を厳選しています。なお、期中の株式組入比率は概ね高位を維持しました。

※「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」とは、デジタル技術を駆使して、企業経営や事業の在り方、個人の生活や働き方を変革することをいいます。

●期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

生活必需品では、サプライヤーとの交渉でより良い条件を引き出し、品揃えを迅速に変更できる規模と柔軟性を併せ持つと判断したことや、根強いインフレが続く中で、調達力を活かして質の高い商品を割安な価格で提供することで、高所得者層の取り込みも進めることが期待できると判断し、世界最大の米小売チェーン、ウォルマートを新規に購入したことで、セクターウェイトを引き上げました。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

一方、情報技術では、中国の人工知能（AI）のスタートアップ企業である、ディープシークの登場で、AI関連投資が減少する可能性を踏まえ、大規模データセンターなどにクラウド・ネットワーク・ソリューションを提供する情報通信機器メーカー、米アリスタ・ネットワークスを売却したほか、競争激化で業績に対する確信度が低下したと判断し、米画像処理・文書編集ソフトウェアのアドビを同じく売却したことなどにより、セクターウェイトを引き下げました。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指数がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、第48期および第49期はそれぞれ300円とし、第50期および第51期はそれぞれ200円（いずれも1万口当たり、税引前）としましたが、第52期および第53期については、分配を行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項 目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2024年10月16日～ 2024年11月15日	2024年11月16日～ 2024年12月16日	2024年12月17日～ 2025年 1月15日	2025年1月16日～ 2025年2月17日	2025年2月18日～ 2025年3月17日	2025年3月18日～ 2025年4月15日
当期分配金	300円	300円	200円	200円	－円	－円
（対基準価額比率）	(2.421%)	(2.446%)	(1.707%)	(1.685%)	(－%)	(－%)
当期の収益	210円	167円	－円	109円	－円	－円
当期の収益以外	89円	132円	200円	91円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	2,183円	2,051円	1,851円	1,760円	1,760円	1,760円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドの今後の運用方針

UBSグローバルDX株式マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

マザーファンドの今後の運用方針

今後も、世界の先進国、新興国に上場する企業のうち、デジタル・トランスフォーメーションにより中長期的に高い成長が見込まれる企業に投資し、信託財産の成長を目指してまいります。

お知らせ

約款変更のお知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、運用報告書に関する条項の記載変更を行いました。（約款変更実施日：2025年4月1日）

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

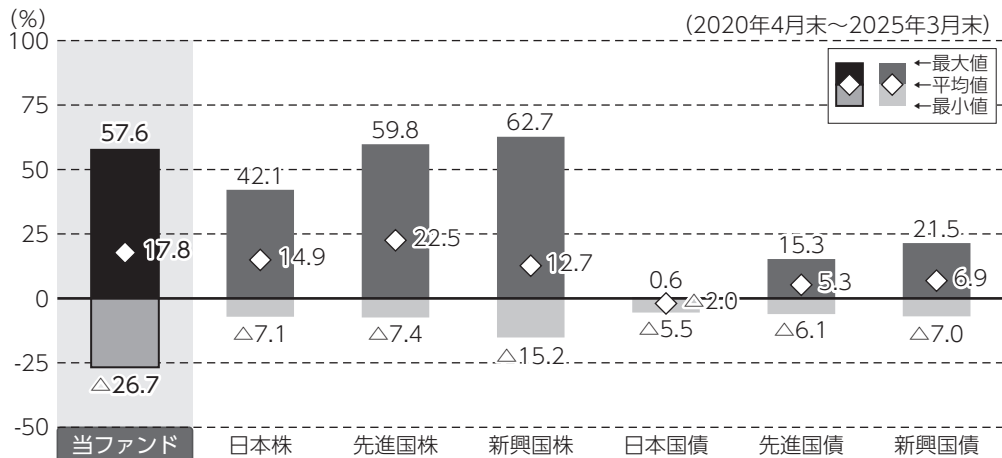
当ファンドの概要

商品分類	追加型／内外／株式	
信託期間	信託設定日（2020年10月15日）から無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスフォーメーションにより、中長期的に高い成長が見込まれる企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド ＜UBSグローバルDX株式 ファンド（予想分配金提 示型）＞	UBSグローバルDX株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド ＜UBSグローバルDX株式 マザーファンド＞	主として、先進国、新興国に上場する企業の株式に投資を行います。
運用方法	ベビーファンド ＜UBSグローバルDX株式 ファンド（予想分配金提 示型）＞	マザーファンドの組入れについては、高位を維持することを基本とします。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向等により、弾力的に変更を行う場合があります。 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
	マザーファンド ＜UBSグローバルDX株式 マザーファンド＞	銘柄選択にあたっては、デジタル・トランスフォーメーションを通じた長期的な成長見通しに優れ、相対的にクオリティが高いと判断される銘柄を厳選し、リスク分散にも配慮しつつポートフォリオを構築します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向等により、弾力的に変更を行う場合があります。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 UBSアセット・マネジメント（アメリカス）エルエルシーに運用の指図に関する権限を委託します。

分配方針	毎決算時（毎月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、原則として、上記の分配対象額の範囲内で、以下の方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。また、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額*が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。 ※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。 ＜計算期末の前営業日の基準価額＞ ＜分配金額（1万口当たり、税引き前）＞ <table> <tr> <td>11,000円未満</td><td>基準価額の水準等を勘案して決定</td></tr> <tr> <td>11,000円以上12,000円未満</td><td>200円</td></tr> <tr> <td>12,000円以上13,000円未満</td><td>300円</td></tr> <tr> <td>13,000円以上14,000円未満</td><td>400円</td></tr> <tr> <td>14,000円以上</td><td>500円</td></tr> </table> ※基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。 ※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。 ③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定	11,000円以上12,000円未満	200円	12,000円以上13,000円未満	300円	13,000円以上14,000円未満	400円	14,000円以上	500円
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定										
11,000円以上12,000円未満	200円										
12,000円以上13,000円未満	300円										
13,000円以上14,000円未満	400円										
14,000円以上	500円										

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*2020年4月から2025年3月の5年間（当ファンドは2021年10月から2025年3月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

*騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。

*騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX） （配当込み）	東証株価指数（TOPIX）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス （配当込み、円換算ベース）	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス （配当込み、円換算ベース）	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス （除く日本、円換算ベース）	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド （円換算ベース）	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

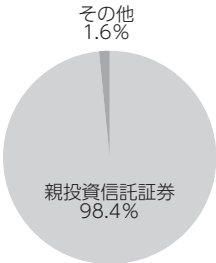
(2025年4月15日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：1銘柄）

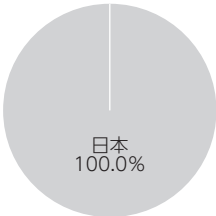
銘 柄	比率 (%)
UBSグローバルDX株式マザーファンド	98.4

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

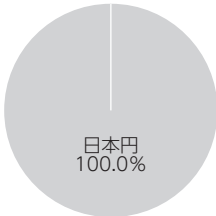
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

項 目	第48期末 2024年11月15日	第49期末 2024年12月16日	第50期末 2025年1月15日	第51期末 2025年2月17日	第52期末 2025年3月17日	第53期末 2025年4月15日
純資産総額	947,280,953円	943,787,713円	907,695,779円	911,733,111円	775,009,137円	684,553,278円
受益権総口数	783,257,038口	788,941,749口	788,236,878口	781,210,377口	772,862,469口	763,864,317口
1万口当たり基準価額	12,094円	11,963円	11,516円	11,671円	10,028円	8,962円

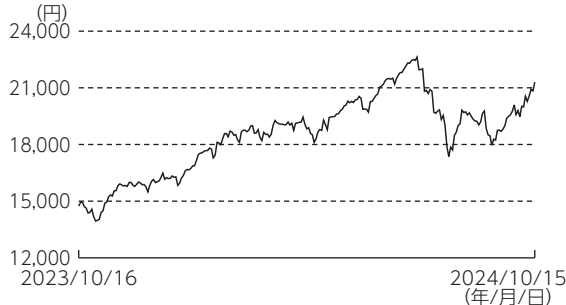
(注) 当作成期間（第48期～第53期）中における追加設定元本額は60,694,403円、同解約元本額は62,765,750円です。

組入上位ファンドの概要

（2024年10月15日現在）

◆UBSグローバルDX株式マザーファンド

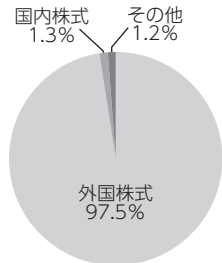
基準価額の推移（2023年10月16日～2024年10月15日）



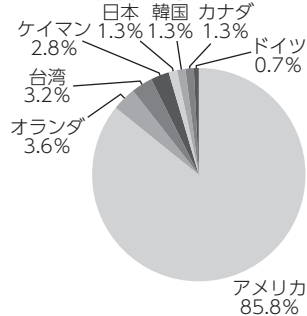
組入上位10銘柄（銘柄数：54銘柄）

銘柄名	業 種	国／地域	比率(%)
NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ	6.1
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	5.8
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	4.6
AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカ	4.2
META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカ	3.4
ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ	3.2
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	台湾	3.2
ADVANCED MICRO DEVICES	半導体・半導体製造装置	アメリカ	2.8
ORACLE CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	2.7
BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	アメリカ	2.5

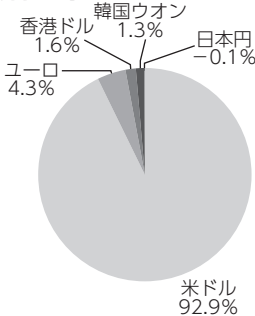
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



（注1）「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。

（注2）「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注3）「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。

（注4）組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2023/10/17～2024/10/15	
	金額	比率
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)	0.022% (0.022)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.007 (0.007)
その他費用 (保管費用)	17 (17)	0.095 (0.094)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	22	0.124

- ※期中の平均基準価額は18,395円です。
- (注1) 「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。
- (注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。